

進路だより　第９号　　　　　　　令和5年１月20日（金）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　愛媛県立北宇和高等学校

3学期に考えておかなければならない大切なことは何でしょうか。3学期は次年度の0学期とも言われています。各学年ごとに考えて欲しいことを伝えたいと思います。

1年生は普通科も農業科の生徒も類型の選択があります。自分の興味関心や「将来の進路選択」を考えて選択する必要があります。普通科においては、文系か理系の選択、理科の科目の選択など、来年度以降、途中での変更はできません。「将来自分がしたいことは何か」を考えて選択しましょう。そのためには、専門学校・大学で何を学び、そのためにどのような教科が入試で必要なのかも知っておかなければいけません。自分なりに調べて、情報を得ることが大切です。

2年生は、就職希望者は7月にはどの企業を受験するか決定しなければいけません。進学する人は8月から総合型選抜入試、9月から学校推薦型入試、1月に大学入学共通テストがあり、入試が本格化します。高い目標を持ち、就職希望者も進学希望者も入試にチャレンジして欲しいと思います。そのためには、先輩方が企業(大学・専門学校)を選びどのような選考があるのか理解しておきましょう。そして、自分で調べ、先生方に聞き、情報を得ることが大切です。また、目標に対して、常に継続して学習する態度を身に付けていきましょう。

3年生は、来年度は社会人となります。自分のことは自分で行い、生活能力を身に付けて欲しいと思います。朝起きる、食事を自分で作る、提出物を期限までに出す、社会人としてのマナー、お金の使い方、携帯電話の使用方法、日常生活での言動などです。就職(進学)して、すぐにつまずく人は、**自分のことが自分でできない人が多いです。**

就職しても、進学しても、学習が必要です。就職者は仕事のために資格を取らなければならないし、進学者は大学の求める学力があり授業を理解しなければいけません。特に、英語など寸暇を惜しんで勉強しましょう。最後に、進学が未決定の生徒は、受験に向き合い、合格を勝ち得るまで、頑張っていきましょう。

☆２年生　進路講演会

　昨年１２月末、２年生の進学希望者を対象に、進路課長の宮﨑先生がオンラインで講演を行いました。主に大学進学を希望する生徒向けの講演でしたが、その他の進路を希望している生徒にも大いに参考になる内容でしたので、お伝えします。

まず紹介したい言葉がいくつかあります。

○「子どもたちの６５％は大学卒業後、今は存在していない職業に就く。（キャシー・デビットソン）」

○「今後10～20年程度で、約47％の仕事が自動化される可能性が高い。（マイケル・Ａ・オズボーン）」

○「近い将来、10人中９人は、今と違う仕事をしている。（ラリー・ペイジ）」

　どうでしょうか。これらの言葉から読み取れるのは、「正解」がある今までの社会から、自ら考え、行動する必要がある力が求められる「正解のない社会」へ変わっていくだろうということを表していると言えそうです。

　進学する際には、入試形態を知っておく必要があります。大きな枠組みとしては、「推薦入試」（総合型選抜）・（学校推薦型選抜）と「一般入試」があります。

　そのうち、「推薦入試」においては小論文や面接で、次のようなテーマで意見を求められることがあります。

○「インターネットのない世界」とはどのようなものかについて考え、長所と短所を挙げながら考えを述べなさい。（鹿児島大）」

○「東京一極集中と地方消費に関する文を要約し、地域の新しい発展の形を考えなさい。（岡山新見公立）」

○「日本は救急車の利用を有料化すべきである。是か非か。」

　みなさんの考えはどうですか？こういった課題をについて自分の考えを持っておくことや、自分の意見を堂々と述べることができる力は、就職する人にとっても、進学する人にとっても必要なことではないでしょうか。そしてそのような課題について、深く学び、自分の考えを深めていく場こそが将来の進学先であり、皆さんが通う、この北宇和高校であることを忘れないでほしいと思います。